

談話標識へのアプローチ

研究分野・方法論・分析例

小野寺典子著 定価 3,080 円

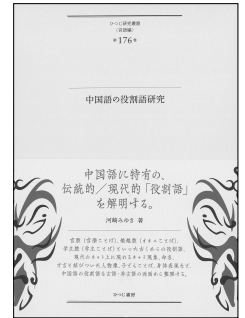
談話標識(ディスコースマーカー)は、今や、世界中の言語で、複数の学術分野・アプローチから研究されるようになった。研究分野の広範さゆえに起こる、研究上の様々な疑問に答えるよう、解説した書である。異なる学術的アプローチ・主要な3アプローチ(シフリン・フレイザー・ブリントン)・共時的/通時的分析ほかを説明し、日英語の分析例も豊富に掲載。談話標識研究・談話分析のノウハウが学べる1冊である。



中国語の役割語研究

河崎みゆき著 定価 5,060 円

中国語にも役割語が存在するのか、するならどのような生態で、中国語の特質とどう関係するのか、翻訳や外国語教育、言語学に貢献しうるかを以下の面から調査研究した。1. 中国語の方言と人物像、2. 中国伝統の「役割語」、3. 非言語行動と人物像、4. 非言語成語と人物像、5. 命名と人物像、6. ネット上のキャラ現象、7. 「役割語」のリソースとしての小学校語文教科書。2017年北京・商務印書館発行の《汉语“角色语言”研究》をもとにした日本語版。

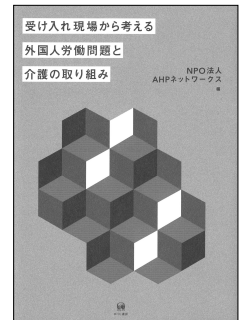


受け入れ現場から考える外国人労働問題と介護の取り組み

NPO 法人 AHP ネットワークス編 定価 3,300 円

ベトナム人看護師や介護士受け入れに関わる現場経験の集積から、外国人と日本人の介護協働の方向性を考える。1993年からの「ベトナム人看護師養成支援事業」、ベトナム医療系大学とのKAIGO教育交流、ハノイの医療短大教諭の提言、ベトナム高齢者の課題、介護の日本語教育への探求、そして外国人労働問題の専門家と現場との座談会を収めた。

執筆者：二文字屋修、剣持敬太、岡田智幸、原国芳、榊豪司、中之庄まき、レティビック ホップ、ファミドゥック ムック、大田泰正、矢田高裕、神村初美、川村千鶴子、安里和晃、万城目正雄、マイアイン



モノリンガルとバイリンガルが混在する地域における説得研究

キルギス語とロシア語の文章に基づく言語使用の実験
西條結人著 定価 7,700 円

「ののしり」の助動詞でなにが表現されるのか

関西方言話者の表現の特質を求めて
村中淑子著 定価 7,700 円

東アジアから日本へ越境する人々の「言語」と経験

1980年代後半以降を中心に
市川章子著 定価 6,600 円

グライス語用論の展開

非自然的な意味の探究
平田一郎著 定価 5,390 円

新しい認知言語学

言語の理想化からの脱却を目指して
渋谷良方・吉川正人・横森大輔編 定価 6,050 円

5分間で言語学

一口サイズのことばへの誘い
E.M. リッカーソン、バリー・ヒルトン編
上田功ほか監訳 定価 2,640 円

執筆者：遠藤智子、大谷直輝、木本幸憲、木山直毅、渋谷良方、土屋智行、中村文紀、中山俊秀、名塩征史、堀内ふみ野、横森大輔、吉川正人、李嘉、李昱琨、Ash L. Spreadbury

<価格税込>



ひつじ書房の新刊紹介ページはこちらのQRコードからアクセス
<https://www.hituzi.co.jp/books/sinkan.html>